



第269号 平成26年4月10日
公益社団法人 三田市シルバー人材センター
〒669-1323
三田市あかしあ台5-32-2
電話 564-7501
FAX 553-1300
Eメール sandasilver631015@sandasc.org
ホームページ <http://www.sandasc.org/>

平成26年度事業計画・予算

過日、3月25日(火)に第7回理事会が開催され、次年度に向けての事業計画(案)及び収支予算(案)についての協議が行われました。

■事業計画

事業計画としては、駐輪場の一部無人化等により事業実績は減少傾向を予測していますが、平成25年度に策定した中期計画を目標に、積極的な就業開拓、会員増強に努め、更に就業機会の少ない女性会員の為、コミュニケーションの場を確保し、自由な意見や発想を取り入れながら、新たな事業を開拓していきます。昨年度の安全面に関しては、重篤な人身事故があり、誠に残念な結果となりました。今年度は就業会員全員が人身事故「0」が達成できるように努めます。又地域班活動、企画提案方式事業も創意工夫を重ね、継続して運営します。

■収支予算

今年度は収益・経常とも25年度比5%増で計画してありますが、消費税増税分3%が含まれ、昨年度の事業減少傾向を補完する微増の計画としました。経常増減は収支相償の観点から余剰金消費の為、赤字6百8拾万円としました。

それぞれ理事会の承認を得、次期定期総会で報告を行います。

	(単位百万円)	
	26年度	25年度
経常収益	467.5	444.2
経常費	474.3	450.3
経常増減	△6.8	△6.1

消費税増税にともなう「配分金」の改定について

4月1日より、消費税が8%になったことで、シルバー人材センターでの受託事業に関しましても、発注者からいただく料金にかかる消費税を5%から8%に変更いたします。

就業された会員さんにお支払いする「配分金」は全て内税扱いとなっており、3月分までは5%の消費税が加算されておりますが、4月分以降からは消費税が8%加算された額をお支払いすることとさせていただきます。(従来額を一旦税抜にし、改めて8%を加算します。)

会員の皆さんは1人1人が「一事業主」という扱いから、センターからお支払いする「配分金」にも消費税を加算してお支払いすることとなっています。

以上、上記の内容により、4月就業分以降の配分金額が増加することとなりますので、周知いただきますようお願いいたします。

平成26年度定期総会ご案内

来る5月28日13時30分からウッディタウン市民センターで定期総会を開催します。詳細は来月送付する議案書をご覧ください。

センター運用に関するアンケート調査完了。

当会員と三田市民(1700件)を対象にしたアンケート結果(51ページ)がまとまりました。調査には多額の投資をしており、それだけの成果を出す為、今後、主に理事と職員が分析・対策を検討します。その結果は逐次報告します。

当センターの歴史(第3章 平成11年～平成15年)

平成14年(2002年)

みどりの日の集いに参加(有馬富士公園)。

第1回就業相談行われる。

互助会でグランドゴルフ大会を始める。

全国シルバー人材の総会で安全就業の優良シルバー人材に当センターが選ばれる。

迎春用(しめ縄、ミニチュアの門松、干支の置物、葉牡丹)のチラシを新聞折り込み

に入れ、注文をFAXで受け付ける。

千と千尋の神かくし花自動車

平成15年(2003年)

最後の花自動車“千と千尋の神かくし”で三田まつりに参加(コンテストではなくシルバー人材センターのPR用の車両)。

就業相談、各地域ごとに開催。

平成11年より継続している、SP事業(シニアワークプログラム、一般市民も参加できる。講習内容はパソコン、植木選定、介護)が好評



前月号の平成13年の欄、今の皇太子がお生まれになるは、皇太子妃雅子様が第一子愛子様をご出産された。の誤りでした。お詫びして、訂正いたします。

平成26年度 各地域班会開催予定

会員皆様にご案内しますので、万障繰りあわせの上、出席の程お願い致します。

地域班名	班会日時	会場
三田	4月16日(水)10:30～	中央公民館
広野	4月21日(月)10:00～	広野市民センター
藍・本庄	4月22日(火)11:00～	藍市民センター
ウッディA・B	4月23日(水)10:00～	ウッディ市民センター
フラワー	4月24日(木)10:30～	フラワー市民センター
三輪	4月25日(金)11:00～	三輪会館
高平	4月25日(金)10:00～	高平ふるさと交流センター
小野	4月26日(土)10:00～	有馬富士共生センター

<こんな仕事あります>

○ (担当小川)

清掃作業 (女性1名)

9:00~12:00

月 10~12日 (交代制有)

○ (担当小川)

清掃作業 (クラブ内・浴室等) 女性1~2名

9:00~12:00 8:00~17:00 8H

週1~4日 交代制有

清掃作業 (浴室・ロッカー室他) 男性1名

9:00~12:00 週3~4日 (交代制有)

○ (担当小川)

調理補助 (パック詰め・品出し) 不問2人 (交代制有)

7:00~11:00 8:00~12:00

週4~5日 (70歳まで)

「伸びゆく三田」配布員募集



下記の地域で配布員を募集しますので、至急事務局まで連絡下さい。(担当 職員上田)

香下 約 80部配布

酒井 約 65部配布

福島・西野上・東野上 約 300部配布

(地域に関わらずバックアップ要員を募集しますので、事務局まで連絡下さい)

4面ティーブレイクの答え

Q1-①東京都 奈良県ナラノサクラ、山梨県ツバギク

Q2-②平安時代 812年嵯峨大皇が花見をした記録有り

Q3-③江戸時代

Q4-②桜の木の皮 (桜皮カビ) は、二日酔いを改善

Q5-②100円硬貨と千円札の2種類

Q6-③馬肉は切ると綺麗な桜色になる、別名さくら肉

Q7-②太陽神戸三井銀行が後にさくら銀行になった

Q8-① (紀貫之) この歌で詠まれている花は「梅」

入会説明会のご案内

お知り合い、ご近所の方をお誘い下さい。

4月11日 (金) 13:30~

5月16日 (金) 13:30~

(事前予約が必要ですので事務局まで連絡下さい)

笑顔研究所
あなたが笑顔になる時は...

あさだ かねこ いまいずみ まゆみ
浅田 周子 さん 今泉 満由美 さん

今回はシルバー会員の新人のお二人です。

お二人は高齢者大学のお仲間です。

浅田さんは若い頃からお茶とお花を習っておられて、今まで

何度か中断しながら、今に至って現在週1回未生流



をお仲間と楽しく生けて、またお庭の小花や木の枝を生けて出来上がると自然に笑顔がこぼれます。家の中は花の香りが絶えないようです。



今泉さんは2年前に三田に引っ越して来られて、まだ三田の街が良く解らないそうで、シルバー人材センターではお友達作りがまず目標だそうです。

まだ友達はできていませんが、先日、高齢者大学終了式の当日、同じクラスの人達と会食し一年間の思い出話しをして、笑顔が絶えない一日でした。

(O記)



1. ティーフレイク

桜クイズ



このエコーが皆様のお手元に届くころ、三田の桜はまだ咲いていますでしょうか？今回は桜にちなんだクイズに挑戦して頂きましょう。



- Q 1 県花に「ソメイヨシノ」を指定しているのはどこ？
①東京都 ②奈良県 ③山梨県
- Q 2 日本で一番古いお花見の記録はいつの時代？
①奈良時代 ②平安時代 ③鎌倉時代
- Q 3 桜の葉で包んだ「桜餅」は何時代から食べられるようになったか？
①平安時代 ②安土桃山時代 ③江戸時代
- Q 4 桜の花弁を塩漬けにした桜茶は何に効果がある？
①寝不足 ②二日酔い ③腹痛
- Q 5 日本国内で、現在有効なお金のうち桜が描かれているのは何種類？
①1種類 ②2種類 ③3種類
- Q 6 食肉で「さくら」と言えば何の肉？
①鶏 ②猪 ③馬
- Q 7 旧さくら銀行で合併した3行の銀行名は？
① 太陽銀行・兵庫銀行・住友銀行
② 太陽銀行・神戸銀行・三井銀行
③ 太陽銀行・みどり銀行・三菱銀行
- Q 8 古来より和歌などで詠まれる「花」の代名詞は「桜」ですが、次の中で「桜」ではない和歌は？
①人はいさ心も知らずふるさとは **花**ぞ昔の香に匂ひける（紀貫之）
②ひさかたの光のどけき春の日に しづ心なく **花**の散るらむ（紀友則）
③**花**の色は移りにけりないたづらに わが身世にふる ながめせしまに（小野小町）

(答えは3面です。)



(O・A)

新入会員紹介（順不同・敬称略）

今回は11名の方が会員登録されました。

個人情報保護のためお名前は伏せています。

4月11日からの行事予定

- 4月15日（火） 理事会（中期計画他）
16日（水） 仕事の相談日
30日（水） 理事会（総会準備）

次回の配分金お支払は5月15日（木）です

項目	平成24年度	平成25年度
会員数(人)	1,035	1,070
受注件数(件)	3,157	3,114
契約金額(円)	458,729,767	444,156,531

(平成24年度・26年3月分迄の累計)

伝言板



「こころ」を再読する

夏目漱石が、「こころ」を新聞に連載して100年になるとの記事をよんだ。又、再連載が今月の20日より始まります。(110回にわたり連載)夏目の代表的な作品。これはもう一度読まねばと本を手にとりました。

明治時代の世相と人々の生活、きわめて倫理的、男の寡黙と悲哀、心の^{ひあい}襲^{ひだ}に入り込む文章、世界に誇れる文豪“夏目漱石”夏目家の末っ子に生まれ、他家に養子に出されますが、養父母の離婚により夏目家にもどります。自身も一度妻と離婚をしますが、後復縁をします。その様な事情がこの作品に現れているのではないのでしょうか。皆さんも読んでみてはいかがでしょうか。

(Y・M 記)